

令和六年度入学試験問題

国 語 一〇一

(前期日程)

(注意事項)

- 1 問題冊子および解答用紙は、解答開始の指示があるまで開かないこと。
- 2 問題冊子は1冊、解答用紙は4枚と下書き用紙1枚である。
- 3 解答は、解答用紙の指定された解答箇所を書くこと。指定された解答箇所以外に書いたものは採点しない。また、裏面に解答したものも採点しない。
- 4 解答開始後、4枚すべての解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 5 配付した問題冊子および用紙はすべて回収する。

第3問、第4問は選択問題である。いずれか一方を選択して解答せよ。

選択した問題の解答用紙の所定欄に○印を記入せよ。

なお、両方に○印を記入した場合、あるいはいずれにも○印を記入していない場合は、ともに採点対象外とする。

国語
問題

第1問

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合上、原文の一部を改変したところがある。

著作権処理中

著作權處理中

〔注〕

三瀬利之

日本の歴史学者。一九六九年〜。

パースペクティブ性——ここでは、歴史全体を略図のようにとらえることをいう。

3 非ユークリッド的 ここでは、論理的思考の方法に則り体系立てて記述されていないことをいう。

4 W・ベンヤミン ドイツの文芸批評家、哲学者。一八九二年〜一九四〇年。

5 E・サイド アメリカの文学研究者、文芸批評家。一九三五年〜二〇〇三年。

6 ジョーン・スコット——アメリカの歴史学者。一九四一年〜。

7 大橋良介 日本の哲学者。一九四四年〜。

8 E・H・カー イギリスの歴史家、国際政治学者。一八九二年〜一九八二年。

問1 傍線部(A)「

著作権処理中

」について、以下の問いに答えよ。

(1) 「**著作権処理中**」とはどういうことか、本文の内容に即して説明せよ。

(2) 「**著作権処理中**」とはどういうことか、本文の内容に即して説明せよ。

問2 傍線部(B)「

著作権処理中

」に関して、以下の問いに答えよ。

(1) サイドによる「**著作権処理中**」の前後において、西洋と東洋の区別に対する見方はどのように変わったか、まとめよ。

(2) スコットによる「**著作権処理中**」は、その後の歴史記述に対してどのような影響を与えたか、まとめよ。

問3 傍線部(C)「

著作権処理中

」とはどういうことか、本文の内容に即して説明せよ。

第2問

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。なお、設問の都合上、原文の一部を改変したところがある。

著作権処理中

著作權處理中

著作権処理中

(加藤周 『日本文化における時間と空間』による)

- [注]
- 1 コンスタブル 一九世紀イギリスを代表する風景画家。一七七六年～一八三七年。
 - 2 イル・ドゥ・フランス フランスのパリ盆地中央部の地方。
 - 3 紫禁城 一五世紀初め、中国の明の永楽帝が北京遷都に際し建造した宮城。
 - ヴェルサイユ宮 一七世紀にフランスの王ルイ一四世が建造した宮殿。
 - 5 トプカピ宮殿 一五世紀中頃から一九世紀中頃までオスマン帝国の君主が居住した宮殿。宝石をあしらった豪華な宝飾品が多かった。
 - 6 桂離宮 一七世紀に八条宮家の別邸として建造されたもの。建築群と庭園からなる。
 - 7 オースマン男爵 一九世紀フランスの政治家、パリ市街の改造計画を推進した。一八〇九年～一八九一年。

- 8 『普請中』 森鷗外（一八六二年～一九二二年）が一九一〇年に発表した小説。「普請」とは家を建築したり修理したりすること。
- 9 楽茶碗の「景色」 楽茶碗は千利休の創意を受けて楽長次郎らくぢょうじろうが始めた楽焼の手法によって作られたもの。「景色」とは茶碗の外側をめぐるうわ葉の発色で向きによって異なる複雑な姿をいう。

問1 傍線部①～⑤のカタカナを漢字に直せ。

問2 傍線部(A)「著作権処理中」とあるが、日本の宗教的建築における五重塔の位置づけを本文の内容に即して具体的に説明せよ。

問3 傍線部(B)「著作権処理中」と傍線部(C)「著作権処理中」に関して、以下の問いに答えよ。

- (1) 「著作権処理中」とはどのようなものか、本文の内容に即して説明せよ。
- (2) 「著作権処理中」にはどのような意識が反映されているか、「著作権処理中」にあらわれている意識との違いがわかるように説明せよ。
- (3) 「著作権処理中」の思想とはどのようなものか、建築以外で象徴的にあらわれているものを本文中から挙げながら、具体的に説明せよ。

第3問、第4問についてはいずれか一方を選択して解答せよ。

第3問 (選択)

次の文章は、歌論書『俊頼髓脳』の一節で、冒頭の有間皇子(六四〇～六五八年)作の歌にまつわる話が展開されている。これを読んで、後の設問に答えよ。

著作権処理中

(源俊頼『俊頼髓脳』による。一部改変)

[注]

- 1 岩代 紀の国中部にある浜辺あたりの地名。
- 2 浜松が枝を…… 当時、松の小枝を結んで無事などを祈る習俗があった。
- 3 まさしく 祈ったとおりに無事で。
- 4 筥 食べ物を盛る器。
- 5 手向け 神仏に捧げ物を供えること。ここでは、捧げ物を供えて無事を祈ることという意味でも含んでいる。下二段活用動詞「手向く」の連用形が名詞化したもの。
- 6 しらなみの…… 紀の国で川島皇子(六五七～六九一年)が詠んだとされる歌。
- 7 大宝元年 七〇一年。
- 8 うれ 枝の先。
- 9 よし丸 人名。長忌寸意吉麿ながのいみきよきまろを指す。

問 1 破線部①②③を、「は」の用法に注意しながら、簡潔に現代語訳せよ。

問 2 傍線部①②③をわかりやすく現代語訳せよ。

問 3 有間皇子が歌を詠むまでの経緯を本文に即して具体的に説明せよ。

問 4 人麻呂とよし丸の歌に共通して詠み込まれている内容を具体的に説明せよ。

問 5 二重線部「著作権処理中」がもつ認識と、その認識に対する筆者の考えを説明せよ。

第3問、第4問についてはいずれか一方を選択して解答せよ。

第4問（選択）

以下の旅行記を読んで後の設問に答えよ。なお、出題の都合上、原文を省略・変更したところや、返り点と送り仮名を省略したところがある。

著作権処理中

[注]

- 1 明治戊子—明治二十一年（一八八八）年。
- 2 発徳島——「徳島」は、ここでは現在の徳島城一帯を指す。語り手はここから舟に乗ったと思われる。
- 3 撫養港——現在の徳島県鳴門市の北東部に位置する港湾。「徳島」の北方に、後述の「鳴門」（鳴門海峡）の南方に位置している。
- 4 秦立上人——「上人」は僧侶。「秦立」については不詳。
- 5 先容——予約。
- 6 鳴門——ここでは鳴門海峡を指す。鳴門海峡とは、現在の兵庫県淡路島と徳島県鳴門市との間の海峡を指す。古来、渦潮で有名。
- 7 比隣——隣近所の者。
- 8 大渠——広い水路。
- 9 儼舟——金を出して舟と船頭を借りること。
- 10 一里——約四キロメートル。
- 11 大毛山——鳴門海峡に面した山の名。
- 12 開榼倒瓢——「榼」は酒樽。この句は宴会を始めたことを言う。
- 13 奇険——珍しく険しい景観。
- 14 余悸——収まらない動悸。
- 15 屈鬱——元気をなくすこと。
- 16 光徳寺——現在の徳島県徳島市不動東町に位置する寺院。

問1 傍線部①②に返り点を打ち（振り仮名や送り仮名はつけなくてよい）、書き下せ。書き下し文では現代仮名遣いを用いること。

問2 波線部(A)「著作権処理中」を書き下し、現代語訳せよ。書き下し文では現代仮名遣いを用い、現代語訳ではこの一節の主語と動作の受け手も明示すること。

問3 波線部(B)「著作権処理中」とあるが、どのような風景のことか説明せよ。

問4 本文に二か所ある空欄部 X に共通して入る語を書け。送り仮名を平仮名で補うこと。

問5 破線部「著作権処理中」とあるが、語り手は大毛山に登って目撃した光景からどのような教訓を導き出したか、わかりやすく説明せよ。

第1問

国語一〇一（解答用紙その1）

問1	
(2)	(1)

問2	
(2)	(1)

問3		

小計

受験番号

国語 一〇一 (解答用紙 その2)

受験番号

第2問

問1

①

②

③

④

⑤

問2

問3

③

②

①

小計

国語 一〇一 (解答用紙 その3)

第3問を選択する者は下の空欄に○印を記入せよ。

第3問 (選択)

問 1	
③	①
②	①
③	①

問 2		
③	②	①
③	②	①
③	②	①

問 3		
③	②	①
③	②	①
③	②	①

問 4		
③	②	①
③	②	①
③	②	①

問 5			
③	②	①	①
③	②	①	①
③	②	①	①

小 計

受 験 番 号

第4問を選択する者は下の空欄に○印を記入せよ。

第4問 (選択)

問1	
②	①
書き下し文	書き下し文
返り点 著作権処理中	返り点 著作権処理中

問2	
現代語訳	書き下し文

問3	

問4

問5				

小計

受験番号